

## 平成 30 年度地域ケアプラザ収支報告書（横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ）について

平成 30 年度収支報告書の決算額について、健康福祉局高齢在宅支援課が地域ケアプラザ指定管理者と同じ法人に委託している横浜市高齢者用市営住宅等生活援助員派遣事業に関する管理費が一部計上されていたので、該当箇所を次のとおり修正しました。

### ①収支報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

決算額 管理費のうち光熱水費【誤】 3,102,364 円 → 【正】 3,097,400 円

内訳) 電気料金【誤】 1,085,827 円 → 【正】 1,084,172 円

ガス料金【誤】 992,756 円 → 【正】 991,101 円

水道料金【誤】 1,023,781 円 → 【正】 1,022,127 円

清掃費【誤】 88,480 円 → 【正】 88,339 円

その他【誤】 128,885 円 → 【正】 128,680 円

### ②収支報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

決算額 管理費のうち光熱水費【誤】 824,678 円 → 【正】 823,359 円

内訳) 電気料金【誤】 288,637 円 → 【正】 288,197 円

ガス料金【誤】 263,896 円 → 【正】 263,456 円

水道料金【誤】 272,145 円 → 【正】 271,706 円

清掃費【誤】 23,520 円 → 【正】 23,482 円

その他【誤】 34,261 円 → 【正】 34,205 円

横浜市高齢者用市営住宅等生活援助員派遣事業に関する管理費及びその他費用については、横浜市高齢者用市営住宅等生活援助員派遣事業委託費から全て支出されていることを確認しています。

誤った記載のあったこととお詫びいたします。

令和 4 年 12 月 28 日 旭区福祉保健課

健康福祉局高齢在宅支援課

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

地域の現状：『公営住宅は、住宅に困っている収入の少ない人に対し、低家賃で提供される住宅です。通常、住宅を管理している自治体に居住している所得が一定以内の世帯・単身者でなければ応募できません。さらに、60歳以上の人、心身に障がいのある人、生活保護受給者などに入居資格が限定されていることが一般的です。詳細は、各自治体、各公社にお問い合わせください。』と、神奈川県の説明にあります。当ケアプラザの主なエリアは上白根町の戸建住宅と横浜市営住宅2, 325戸と、961戸のUR住宅です。

市営住宅、URは主に5階建ての集合住宅で築49年を迎え、古くから居住している住民同士のつながりは深いものの、新住民の中には自治会に参加せず状況が不明な方も多くなっています。市営住宅はエレベーター工事が完了しましたが、新旧住民の交流は進んでいないと考えられます。URに関しては平成30年度より一部エレベーター工事が進められることになりました。また、前年度は4街区1棟のみリフォームが実施され、今年度は2棟で実施されました。一時的な転居に伴う環境の変化により在宅生活の継続ができなくなる方もおられ、施設入所等の対応を実施しました。

#### 課題Ⅰ：見守り

7年前に見守りネットワークのモデル事業が終わりましたが、以降も引き続き地域からの連絡があり、見守り合うことが続いているのは、隣人同士の長い人間関係と助け合いの気持ちによるところが大きいと思われます。新住民とも同様な見守りがなされるよう支援を行いました。

#### 課題Ⅱ：ボランティア

次世代の担い手である小、中学生の福祉教育に協力し、高校生にもボランティア活動を通して、地域に関心を持ってもらえるよう働きかけています。今年度も中・高のボランティア部の活動を支援しました。

#### 課題Ⅲ：支援困難ケースへの対応

地域ケア会議も、個人レベル、包括レベル、区レベルと進め、急務と思える支援困難ケースに対しては、行政との連携を深め、昨年度に続き、新しい仕組みづくりを話し合う機会を持ちました。

### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- 高齢者・障がい・子ども等幅広い分野の相談について、相談者に必要な情報提供を行い、必要に応じ関係機関に適切につながりました。
- 地域の特徴やニーズを把握し、相談や情報提供の手法に反映させながら相談に対応しました。
- 窓口だけでなく、自主事業・会議等さまざまな場面を活用し、相談対応・情報提供をしました。チラシ、広報紙、ホームページ等で地域に役立つ情報の周知に努めました。
- 職員は必要な制度施策・社会資源等の情報を把握して、適切な支援につなげられるよう対応しました。
- 相談事例に対しカンファレンスなどを行い、多角的な課題対応に努めました。

### (2) 各事業の連携

- 地域包括支援センターの3職種の専門性、地域活動交流コーディネーターの地域とつなぐ力、地域の生活者の視点、生活支援コーディネーターの地域を活性化させる力を取り入れながら支援・事業等を行いました。
- 地域包括支援センターが把握した課題（ひとり暮らし高齢者の支援等）をコーディネーターも含めた地域支援関係者等に伝え、地域でできる支援体制や啓発事業などへと展開させています。
- 地域包括支援センター、地域活動交流部門、生活支援体制整備部門で連携し、個別の課題に対応し、ケアプラザ内で共有しています。
- 地域の特徴に合わせた取組（新規・拡充、自主事業）を行いました。新たに生活支援課・区社協・地区社協と協働で「食支援事業（企業から提供を受けた冷凍弁当のフードストック）」に取り組みました。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 所長を含む常勤職員の適切な配置を行い、欠員は発生しませんでした。
- 職員の資質向上、人材育成を目的とした研修を実施するとともに、外部研修や実習参加を促し、研修報告の提出、伝達研修等を行いました。
- 日々の活動から得た知見を元に、安心づくり安全探しアプローチ（AAA）研究会主催の高齢者虐待防止研修の企画・運営に社会福祉士職が参加しました。

#### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 地域の関連団体や関係機関とのネットワークを強化するため、情報交換や定期的な会議を実施しました。
- 民児協、地区社協、連合町内会、教育関係機関、区福祉保健センター、区社協その他福祉保健団体で、地域課題の情報共有とともに地域福祉保健計画を推進する取組の支援を実施しました。
- 子育て支援拠点（しゃべり場、子育て相談）、地域生活支援拠点ほっとぽっと（にこにこ会）、NPO法人カプカプ（生活介護事業所）等との連携を維持しました。
- 支えあいネットワークの特徴的な取組を継続しました。
- 通算16回目となる“ひかり福祉フェスタ”を行い、連携の継続性を確保しています。今回で6回目となる健康チェックコーナーを開催、保健活動推進員・旭区在宅歯科連携室・企業に加え、近隣の高齢者福祉関係施設から5施設、職員8名が運営に協力、大勢の地域の方が健康増進を目的とした企画に参加しています（健康講話49名、健康体操39名、骨強度・ストレスチェック測定53名参加）。また、福祉フェスタの開催前のイベントに地域の高校生（着ぐるみで来場者のお出迎え）や和太鼓演奏のボランティアをコーディネートすることが出来ました。
- SOSローカルネットワークなどエリア内で他機関と連携し、見守りのネットワークの維持・強化に努めました（38店舗・機関を訪問、2店舗・機関が新規登録）。

#### (5) 区行政との協働

- 地域ケアプラザの役割を理解し、区と協働して取り組みました。
  - (1) 地域福祉保健計画
  - (2) 運営方針
  - (3) 区事業等
  - (4) 区包括的・継続的ケアマネジメント支援計画
  - (5) 障害者など社会的弱者への支援
- 支援チーム会議への参加
- 運営協議会の開催
- 自主事業やサロンの開催
- 高齢・障害支援課、生活支援課との連絡会を行いました。
  - ・高齢者支援担当による巡回カンファレンス 12回
  - ・生活支援課連絡会 4回

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

- 自主事業を通じ、参加者の実情に合わせて福祉保健活動の開発・実施や新たな地域福祉のための取組を行いました。運営状況を確認しながら自主化に向けたサポートを同時に行いました。
- 近隣小学校等にアプローチし、高齢者等との交流を行いました。また、利用の少ない青少年等にもケアプラザをご利用いただけるよう働きかけを行いました。
- 地域の集会所などを利用して、講演会、サロン、体力向上プログラム、出前講座などを開催しました。
- 他団体の共催なども視野に入れ、自主事業を充実させました。

#### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 福祉保健活動団体や地域団体に気持ちよく利用していただくために窓口での気軽なコミュニケーションに努め、相談や要望などが言いやすい環境を整えました。
- 毎週最新の空き室情報の掲示・ホームページの更新を行い、メール、電話でのお問い合わせにも気持ちよく応じました。
- 各登録団体が利用しやすくなるよう、申込受付の案内・掃除道具や調理器具の見直しを行いました。

#### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ボランティア育成のための取組を継続しました。
- 継続してボランティア登録及びコーディネートを行いました。
- 区社協ボランティアセンターとの連携を行いました。
- 交流会を開きボランティア同士のネットワーク化を図りました。
- 名簿の整備を継続しました。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域における福祉保健活動団体や人材等の社会資源（地区社協・連合町内会・地区民児協・地域のサロンや昼食会等）を把握し、情報提供しました。
- 区、区社協からの情報提供を受けて積極的に整理・活用しました。
- 会議・利用団体等との情報交換から把握したニーズの取りまとめをしました。
- 会場利用団体の活動を紹介し、交流会を開催しました。
- 掲示板のニュースなどを毎日更新、貸室情報を毎週更新、広報紙、事業紹介を毎月発行・更新、ホームページの更新及びその他自主事業の案内など随時行いました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- 生活支援体制整備事業に向けて、各地域の現在あるニーズに対し、地域住民の持てる力を最大限発揮できるよう支援を行い、信頼関係を構築する事で圏域での課題の支援に着目し、支え合い協力し合える体制づくりを行いました。
- シニアボランティアポイント講習の参加者が地域活動への参加につながるよう、啓発に努めました。
- 個別課題への取組状況をケアプラザ内で共有し、地域支援につなげるために地域包括支援センター、地域活動交流部門等をはじめとして、ケアプラザ全体で連携しました。
- 生活支援のために様々な活動を行う団体が、より活発な活動が行えるよう必要な情報提供及び後方支援を行いました。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 今まで収集した情報と共に、アンケート調査や聞き取り等を更に進め、生活支援ニーズの状況や資源の収集を行いました。
- 関連機関の会議等で社会資源の情報を共有し、生活支援ニーズの状況やそれに対する資源の状況の情報更新を行いました。
- 上記ニーズの情報把握・整理を行い、他職種や他機関連携で更なる情報収集を行うと共に情報共有を行いました。
- ニーズ把握に伴い地域毎の課題分析を可視化し、地域支援への取組に繋げました。
- Ayamu システムを地域活動交流部門と協働で更新・修正を行う事で、情報の共有を行いました。

## (3) 連携・協議の場

- アンケート調査時やニーズ把握に対し、他職種連携による検討を行いました。
- 課題に相違のある各自治会町内会毎にニーズ抽出を行い、課題把握を行いました。
- 地区特性に沿った働きかけを行い、必要に応じた協議の場を設けました。
- 様々な連携や協議の場で生活支援体制整備事業の意義や必要性が地域に受け入れられるよう、積極的にコーディネートを行いました。

## (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 生活支援に向けた取組として第1層生活支援コーディネーターや他職種と連携し、対象機関や人々への働きかけや資源開発に取り組みました。
- 第1層生活支援コーディネーターや上白根地域ケアプラザと協働で高校生と地域との連携を推進するため、ボランティア活動に繋がる働きかけに努めました。
- 生活支援コーディネーター連絡会において、買物困難者に対する買物支援の一貫として区内スーパーの配達可能店をまとめた冊子を発行しました。
- 支え合い連絡会を通じた支援チームとの取組みにより、地域福祉保健計画にある課題に対応しました。
- 区社協及び区内ケアプラザと連携し、スケールメリットを生かした支援体制や研修体制などを推進しました（3つの分科会を年間6回開催）。

# 4 地域包括支援センター運営事業

## （1）総合相談支援業務

### ① 地域におけるネットワークの構築

- 地域包括ケアシステム構築のため、これまでに培った地域の介護サービス事業者・医療機関、高齢・障害福祉関係機関、自治会、民生委員、行政機関、教育機関等とのネットワークについて、地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターとも協働し、維持・強化に努めました。
- 関係者一同の迅速な対応と緊密な連携が可能となるよう、地域ケア会議、定例カンファレンス等を通して、地域に共通する課題を共有できるよう努めました。結果として今まで以上に緊密な連携が可能となりました。

## ②実態把握

- 民生委員・児童委員、自治会、老人会、各種事業参加者等からこまめに情報を集め、実態を把握し地域アセスメントを実施しました。
- 相談や関係機関からの情報収集、統計による情報整理などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等の把握に努めました。

## ③総合相談支援

- 地域アセスメントを行い、実態を把握しながら支援を行いました。
- 相談や関係機関からの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等の把握に努めました。
- 年間相談件数は、訪問相談283件、来所・電話相談1294件で、昨年度より141件増加しました。支援困難な事例（精神・認知症関連、身元保証人不在、ガン末期等）への対応が増加傾向にあります。
- 高齢者、障がい者ほかに関する相談を受け、相談内容を的確な把握に努めました。
- 相談内容に応じて適切な情報を提供し、関係機関や制度、事業等につなぎました。
- 相談者に対し、必要に応じて継続的に支援を行いました。

## （２）権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 成年後見制度をはじめ、権利擁護事業や消費者保護など関連する法制度を理解し、区、区社協、関係団体等と連携し支援を行いました。
- 成年後見制度等の普及啓発に取り組みました（4包括共催のエンディングノート書き方講座を通して成年後見の講演会を1回実施、38名参加。また担当エリア内で開催されているサロンにて終活講座として成年後見講座を実施、25名参加）。
- 成年後見制度における親族申立支援にあたり、手続きなどに関して適切にアドバイスを行いました。
- 地域の昼食会、民生委員懇談会等で、地域の方々へ旭安全安心かわら版、見守り新鮮情報等の情報提供をし、被害を予防するよう働きかけ、個別の消費者被害の解決支援も行いました。
- 振り込め詐欺や消費者被害等を防止すべく広報活動等の取組を行いました（3回、計117名参加）。

## ②高齢者虐待への対応

- 虐待事例に対し、区と情報や支援の方向性を共有し、区との役割分担に基づき対応することで、適切な支援を行いました。
- 大学などの研究機関（安心づくり安全探しアプローチ（AAA）研究会）と連携し、情報交換しながら、高齢者虐待に対するより効果的なアプローチ方法の実践に努めました。また、AAA虐待カンファレンスシート等の開発に積極的に協力し活用し、ケースカンファレンスハンドブックの執筆に協力しました。
- 介護者支援に積極的に取り組みました。
  - ・分離後の本人や家族に対し必要に応じ関係機関と情報交換するなど継続的にフォローに努めました。
  - ・介護者のつどいを概ね毎月開催し、介護者が孤立しないよう参加を促し、ストレスケアと虐待防止に取り組みました（12回、52名参加）。

## ③認知症

- 認知症の正しい理解の促進のため、普及啓発等に取り組みました。また、部屋利用団体等に対し、必要に応じて地域向けの認知症講座等を開催しました。
- アルツハイマーデーに認知症について正しい理解を求める普及啓発に努めました。
- アルツハイマーデー月間に合わせ①認知症についてのミニ講座(1回19名参加)②『優しい認知症ケア・ユマニチュード』上映会（あさがお協力隊、旭区ひまわりの会、ボランティア向け）、参加者18名）③「旅のことばカード」（認知症とともによりよく生きるためのヒント）の展示を行いました。
  - ・NHK厚生文化事業団よりご恵贈頂いた『優しい認知症ケア・ユマニチュード』のDVDについては、区内包括職員等向けにも試写会を実施し、27名参加。白根ゆり薬局オレンジカフェでも上映して頂きました。
- SOSローカルネットワーク（徘徊高齢者検索ネットワーク）の活用で認知症の人と家族が安心して暮らせるように努めました（38店舗・機関を訪問、2店舗・機関を新規に登録）。

## （3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 地域の民生委員やボランティア団体等とケアマネジャーのネットワーク・支援体制の構築ができるよう、定期的に連絡会を開催しました（11回）。生活困窮者自立支援事業についての説明会も開催しました（1回）。
- 地域住民が必要とする情報を提供できるよう生活支援コーディネーターと連携し、インフォーマルサービス等の情報収集・整理を行い、把握しやすい形態の資料作成と更新に努めました。区社協作成の「旭区配達サービス一覧」も活用しました。
- 『あんしんネットワーク』を継続できるように、地域住民・LSAとの見守り体制の維持を図りました。また、地域の特色を関係事業者に伝え、ネットワークの維持強化と新たな協力機関の開発に努めました。
- 地域ケア会議について、地域特性に合わせ柔軟に運営を行いました。介護サービス事業者にも周知を図り、地域課題が寄せられる体制作りの一助として「介護サービス事業者連絡会」にて地域課題・地域資源について取り上げました（今宿西・上白根との3包括合同開催）。各会合が有機的に連携するよう機能を意識して活用しました。
- 『あんしんネットワーク』での見守りについてはLSAとも協力し、ささえあい連絡会等での場の提供・広報・情報提供等に関わりました。また、安否確認に対する迅速な対応を行うとともに、関係各機関の協力が得られるようPRを実施しました（安否確認・包括への問い合わせ22件、死後発見5件）。



## ②医療・介護の連携推進支援

- ケアマネジャーと地域の医療機関等との「連携できる関係作り」の為に勉強会等を実施しました。精神科医、薬剤師に講師を依頼し、講義をして頂きました（5回）。
- エリア内の医療機関（在宅療養支援診療所、医療ソーシャルワーカー、薬局等）を訪問し、顔の見える関係作りに努めました。地域ケア会議についての報告・周知も行う予定でしたが、年度内に実施できなかつたため次年度に持ち越しとしました。
- 地域の「医療・介護の社会資源マップ」を随時更新し、ケアマネジャーや介護サービス事業所等関係機関への周知に活用しました。
- 区域で作成した医療連携ツール『もの忘れ相談シート』や横浜市医療局作成の「入院・退院サポートマップ」、「入院時・退院時情報共有シート」を活用し、連携を図れるよう働きかけました。特に新任CMに周知しました。
- 昨年度実施した包括レベル地域ケア会議についての報告・意見交換会を上白根・今宿西と3地域包括支援センター合同で実施し、訪問看護事業所にも参加を依頼しました。「介護サービス事業者連絡会」には地域の薬局薬剤師にも参加して頂きました。

## ③ケアマネジャー支援

### ○ケアマネジャーへの支援体制の構築

- ・相談への支援を随時実施し、関係機関とも協働しました。
- ・ケアマネジメント能力向上に資するよう、事例検討や研修会を開催しました（12回）。
- ・新人・就労予定ケアマネジャーに対する研修等の実施を行いました（2回）。
- ・サービス担当者会議の開催支援及びスーパーバイズを随時行いました（24回+237件）。
- ・支援困難事例、緊急対応時等への支援を随時行いました。
- ・区ケアマネジャー連絡会への支援を実施しました（運営委員会、研修会支援）（7回）。
- ・ケアマネジャーのスキルアップのため、エリア内連絡会や勉強会を実施しました（3包括合同6回+単独開催6回）。
- ・自立支援型プランに資するよう「横浜市在宅リハビリテーション事業」についての研修を実施し、ケアマネジャーが適切に活用できるようにしました。
- ・「生活困窮者自立支援事業」についての説明会を実施し、資源の一つとしてケアマネジャーが活用できるようにしました。民生委員と合同の勉強会として開催し、顔合わせの機会としました（33名参加）。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 居宅介護支援事業所・介護サービス事業所の連絡会を実施し、個別の課題や地域の課題について意見交換や検討を行う機会を設けました（2回）。
- ケアマネジャー・民生委員との懇談会や勉強会を実施し、顔の見える関係作りと連携の強化を行いました（懇談会11回、研修会1回）。
- 障がい者への支援も多いという地域特性に合わせ、地域課題解決に役立つよう障がい支援機関とのネットワークの維持に努めました。また、生活支援課・生活困窮者自立支援事業担当者とも協力し、家計管理等の課題解決が図れるよう連携を行いました。地域ケア会議・定例カンファレンスで構築しているネットワークが活用できました。
- 関係者に個別地域ケア会議から出席して貰うことで、支援関係機関相互のより強力な関係作りができるようにしました。また、定例カンファレンスを実施しました（4回 延べ44名出席）。
- 昨年度実施した包括レベル地域ケア会議について報告する機会を設け、地域包括ケアシステムについての普及啓発を行いました。また、地域課題について意見交換を実施し、地域ケア会議についての周知・個別課題から抽出される「地域課題が寄せられる体制作り」を目指し「介護サービス事業者連絡会」を開催しました（3包括合同）。他の予定と重なり生活支援コーディネーターの参加ができなかったため、次年度の課題として再度取り組む予定です。
- 区レベル地域ケア会議において、事例提供・地域ケア会議についての報告を行いました。区内の様々な参加者と、地域の精神保健福祉的課題について検討できました。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 要支援者の主体性・意欲を引き出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントの実践に努めました。
- 委託を行う場合はケアマネジャーと連携し、適切なケアマネジメントが出来るよう契約時等同行訪問面談や担当者会議での助言、ケアマネジャーに地域資源の情報を提供するなどの支援に取り組みました。
- 地域包括支援センターエリア内やブロック毎での介護予防支援業務に関する連絡会・勉強会・情報共有を主任ケアマネジャーと連携して行いました。
- 地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと連携し、介護予防に役立つ情報収集、発信に努めました。

## (6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
<p>○高齢者の状態を把握し、介護予防のきっかけになる情報提供や活動への参加を促すとともに、地域の中で介護予防の取組が広がるように努めました。高齢者が大勢集まる昼食会等の機会を利用して、介護予防活動の周知を行いました。</p> <p>○介護予防事業や自主事業で育成したグループの自主活動を促し、地域での活動を紹介したりするなど継続した取組を進めました。認知症予防ダンス（だんだんダンス）を体操教室内で合計30回以上開催しました。コグニサイズでは毎回体重測定と年4回の体力測定を行い、自分の身体状態を確認できるノートを作り毎回の記入を促しました。</p> <p>○介護予防の情報の提供、新規参加者を紹介するなどして自主化したグループを継続して支援しました。</p> <p>○介護予防を行うグループの交流を促し、エリア内の介護予防活動の拡充に取り組みました。また、活動の中での課題などを気軽に相談できるように、お互いに顔の見える関係の構築に努めました。みな元気旭！ステーションに登録しているグループに対して、活動内容の把握と要望についての意見を確認しました。手話サークル活動団体にも声掛けを行い、聴覚障害者も参加できるよう依頼しました。</p> <p>○地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと連携し、介護予防に役立つ情報収集、発信に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・URハマトレ体操の参加者増加の為、生活支援コーディネーターと共にチラシ配りや運営について保健活動推進員に協力しました。</li><li>・地域住民活動のなかで認知症の講座を開催しました。</li><li>・四季の森公園内で地域住民が自主的に行っているラジオ体操の視察を行い、介護予防事業の広報を行いました。</li><li>・新規の男性介護予防体操参加者獲得を目指して、ひかりが丘小学校コミュニティハウスでコグニサイズを開催し地域の男性に参加を促しましたが、新規の男性参加者の獲得は難しい状況でした。</li></ul>

## 5 その他

「横浜市高齢者市営住宅等生活援助員派遣事業」について記載していましたが、この事業は、健康福祉局が地域ケアプラザ指定管理者と同じ法人に委託している事業であり、地域ケアプラザの実施事業ではありません。このため当該文書を削除しました。誤った記載のあったこととお詫びいたします。

令和3年5月14日

- 地域の急速な高齢化に伴い、主な自治会である「ひかりが丘団地自治会」と民生・児童委員に現状以上の助力を望めません。民生・児童委員に関しては現在6名であり、どなたも自治会役員、地区社協役員を兼務し、地域の支援者も高齢化が進んでいます。
- 虐待をはじめ、これまで対応した困難事例の中で心理的に高度な対応が必要なケース等については区と必要に応じ対応を協議しました。カンファレンス等の開催により役割分担をしながら協働して対応しましたが解決困難な事例も多く見られました。
- 一昨年度より、ひかりが丘住宅住居改善事業が始まりましたが、改修による転居に伴い在宅生活が困難となるケースが多く見られます。担当ケアマネジャー等と連携しながら必要な支援及び調整に努めました。

## 以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### (1) 施設の維持管理について

- 施設の安全かつ衛生的な維持管理を目指し、保守点検に関すること及び、閉館後のセキュリティ管理を専門業者に委託しました。
- 日常の衛生管理を目的に、皆で清掃・消毒作業を行いました。全館清掃、害虫駆除などは外注で行いました。
- エントランス、中庭、広大な斜面の草刈、植栽の剪定等は、作業内容の危険性を考慮しながら、ボランティア・職員・外注等で分担をして対応しました。
- 築10年を超えた時から、さまざまな設備が壊れてきました。不具合の程度を見極め、優先順位をつけて修繕を行いました。

#### (2) 効率的な運営への取組について

- ケアプラザ内の連携を図ることでスムーズな事業の流れを目指しました。ケアプラザ委員会(月1回)、各部連絡会(毎週金曜日)ほか、各部門で随時連絡会、ミーティングを持ち、個人情報保護法など、制度に留意しながら、運営上必要な情報の共有化を心がけることで連続性のある包括的な支援体制を維持するよう努めました。
- 節電を徹底し、水道の使用を控え、ゴミルート回収のために、細かく分別を行う等資源の無駄を省きつつ、良好な環境作りに留意しました。
- 設備については、本年開設16年目を迎えるため不具合箇所が発生する可能性が高まっており、ご利用者へ迷惑をかけないように、早めの修繕を行っていくよう心がけました。昨年同様、優先順位を見極め、予算も考慮し取り組みました。また、備品についても、管理を強化しました。

#### (3) 苦情受付体制について

- 苦情解決責任者は所長、苦情受付担当者として各部主任を決め、第3者委員を運営協議会会長と、上白根地区社協会長に依頼し、苦情や意見の窓口としました。ご意見ダイヤルのポスターとともに館内に掲示し周知をしました。
- 挙げられた苦情や要望は苦情事故対応委員会を通してケアプラザ委員会に提出し、解決するよう必要な行動を起こしました。
- 苦情事故対応委員会を毎月開き、各月の報告に対して原因、対応策を話し合い現場にフィードバックすることで再発防止に努めました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 施設の警備を専門業者と契約し、夜間や早朝、年末年始休館に対応しました。
- 警備中の有事に関しては、ケアプラザ委員会メンバーを中心に必要に応じて緊急連絡網を用い、職員に周知し対応しました。
- 火災等の災害に対しては、防火管理者の立てた防災計画に則り年間2回の防災避難訓練を行い、緊急時に備えました。
- 大地震への備えとして、横浜市防災計画に沿って地域防災拠点運営委員会との連携を強め、ケアプラザの「福祉避難所開設マニュアル」に沿って行動できるよう、職員に周知し、具体的な研修を行いました。
- 災害時備蓄品の更新を行いました。

#### (5) 事故防止への取組について

- 朝礼で、職員に対して事故への注意、安全への意識付け等を行いました。  
（祝日を除く月曜日から金曜日8時45分から9時）
- ひだまり（高齢者の認知症予防教室）などの事業開始時に、対象者の心身の状態を含む健康状態のチェックを行い、事故が起こらないように留意しました。
- デイサービスでは、夕方のミーティングで業務内容の確認、反省、見直しをして、事故防止に努めています。ひやりはっとの案件に応じて、実技を伴う研修・勉強会を行いました。
- 職員研修で全員に注意を促し、事故防止に取り組みました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

- 区役所から提供された資料を基に個人情報保護についての研修を行い、全員の誓約書を区役所に提出しました。
- 新規雇用者へは、初日の研修で同じ資料を用いて理解を深めてもらい、誓約書に署名をしてから、業務についてもらうようにしました。
- デイサービスでは、夕方のミーティングで確認し、個人情報保護に関してミスの無いように、常に敏感であるよう取り組みました。

#### (7) 情報公開への取組について

- 広報紙、チラシ、掲示板、ホームページ等でケアプラザの事業や取り組みに関する情報を積極的に発信しました。
- 地域に関係する防犯情報、各種講演会などの公的情報等を集め、発信することによって地域の情報窓口としての機能を充実させました。
- 介護サービス情報の公表制度で、介護サービスの内容や運営状況に関する情報を公表しました。

(8) 人権啓発への取組について

- 地域住民の尊厳を守り、安全・安心な暮らしをしていただけるよう努めるため、地方自治法第244条及びヘイトスピーチ解消法第2条等に基づきケアプラザの管理運営に努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ゴミルート回収に全職員が協力し、所内でのゴミの分別、収集、計測を行いました。各部門でゴミを分別し、計量したデータを集計し、職員が週3回燃えるゴミ、週1回不燃ごみ、月1回資源ごみ、年間2回蛍光管などのマニフェストを作成、業者からの伝票を記録し3ヶ月ごとに担当に報告しました。
- 職員は、タオル、ハンカチ持参で、ペーパータオルの節約によるごみ減量をはじめ、水道の節水、消灯や、冷暖房の温度設定による節電、裏紙使用による紙の節約をしました。
- 所内外の美化、整備、衛生に地域活動交流部門の職員を中心に全員で対応しました。
- 例年通り、入館者の感染症予防のために、建物入口での消毒液空間噴霧や手指用アルコール消毒器を継続し、感染予防・防止に努めました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）  
担当者 6名（常勤兼務5名、非常勤兼務1名）

#### 《目標に対する成果等》

地域の方々が住み慣れた街で安心して暮らすことが出来るように、また一人一人の尊厳が守られ希望を持って過ごせるように介護保険法に基づき介護予防支援を行いました。

個別性を尊重し、自律した生活が出来るように支援しました。  
地域のインフォーマルサービスを活用して地域性に合わせたプランを作成しています。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則的には実費負担なし。
- 地域外への支援の交通費については応相談

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

ケアプラン作成は担当者会議や事業所内でのカンファレンスなどを通じて多角的に支援を検討しました。地域のボランティア団体や自治会、商店街のネットワークなどの地域資源を紹介して支援につなげました。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
118	121	127	130	123	134
10月	11月	12月	1月	2月	3月
129	126	127	126	130	137

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
介護支援専門員	常勤専従	1名
	常勤兼務	2名
	非常勤兼務	1名

《目標に対する成果等》

地域の方々が独居、老老介護など困難な状況であっても、住み慣れた自宅で暮らせるよう、安心と信頼を提供できるよう努めました。ご利用者の意思を尊重し、心身の状況、環境などに応じて、自立した日常生活を営むことが出来ることを目指し、支援を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●特に無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域包括支援センター併設事業所として、幅広い相談に柔軟に対応出来るように心掛けています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80	87	84	79	79	93
10月	11月	12月	1月	2月	3月
85	90	91	88	85	89



● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス報告作成 ● 生活相談
- 機能訓練（日常動作訓練） ● 介護サービス ● 健康状態の確認
- 送迎 ● 給食 ● 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（7～8時間） 1回分
  - （要介護1） 662円
  - （要介護2） 782円
  - （要介護3） 905円
  - （要介護4） 1030円
  - （要介護5） 1154円
  
- 入浴介助 54円
- 認知症加算 65円
- 中重度者ケア体制加算 49円
- 若年性認知症利用者受入加算 65円
- サービス提供体制加算Ⅰ 20円
- 食費負担 750円
- 活け花 600円
- お習字 100～200円
- パット・下着（紙パンツ）代 50～100円

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:00 ～ 16:10

《職員体制》

- 管理者 1名
- 生活相談員 2名
- 看護職員（兼機能訓練指導員） 5名
- 介護職員 17名
- 調理員 5名

《目標に対する成果等》

- 1 デイサービスの支援が必要なご利用者の生活機能及び生活意欲の維持・向上をめざして、サービスを提供しました。
- 2 地域福祉の担い手として責任感を持ち、多様な資源との『繋がり』を大切に『謙虚な気持で』ご利用者及びご家族への支援を実践しました。
- 3 ご利用者・ボランティア・職員が、それぞれに《目配り・気配り・心配り》を行う事により、更に温かくご利用者からも地域からも必要とされるデイサービスを目指しました。

- あたたかい介護
- 制度に即した運営
- サービスの質の向上
- 情報発信
- 地域社会及び関係各所との連携
- 個人情報の適切な管理

《その他（特徴的な取組、PR等）》

昼食はおいしい選択食（主食、主菜）と、お楽しみ行事食を提供しました。  
笑顔で迎え、笑顔で送るデイサービス。「来てよかった」「また来たい」と笑顔で過ごしていただけるデイサービス。利用者や家族が安心して利用できるデイサービス。  
私たちは、常にサービスの質の向上を意識して日々の業務に取り組みました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
764	824	814	852	873	818
10月	11月	12月	1月	2月	3月
864	805	786	738	734	822

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成
- 生活相談
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 介護サービス
- 健康状態の確認
- 送迎
- 給食
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （事業対象者） 1766円／月
  - （要支援1） 1766円／月
  - （要支援2） 3620円／月
- 生活機能向上グループ活動加算 108円／月
- 若年性認知症利用者受入加算 108円／月
- サービス提供体制加算Ⅰ 要支援1：78円／月、要支援2：155円／月
- 食費負担 750円／回
- 活け花 600円／回
- お習字 100～200円／回
- オムツ代 50～100円

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9：00 ～ 16：10

《職員体制》

- 管理者 1名
- 生活相談員 2名
- 看護職員（兼機能訓練指導員） 5名
- 介護職員 17名
- 調理員 5名

《目標に対する成果等》

- あたたかい介護
- 制度に即した運営
- サービスの質の向上
- 情報発信
- 地域社会及び関係各所との連携
- 個人情報の適切な管理

《その他（特徴的な取組、PR等）》

昼食はおいしい選択食（主食、主菜）と、お楽しみ行事食を提供しました。  
笑顔で迎え、笑顔で送るデイサービス。「来てよかった」「また来たい」と笑顔で過ごしていただけるデイサービス。利用者や家族が安心して利用できるデイサービス。  
私たちは、常にサービスの質の向上を意識して日々の業務に取り組みました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18	20	16	20	19	18
10月	11月	12月	1月	2月	3月
18	17	18	18	18	20

平成30年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,404,000	322,179	15,726,179	15,726,179	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
指定管理料充当 事業	0	0	0	56,600	△ 56,600	自主事業収入(夏休み子どもクラブ、健康吹き矢)
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	4,395	△ 4,395	
印刷代	0	0	0	4,395	△ 4,395	印刷代
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0	0	0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000	0	3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,022,000	0	1,022,000	1,022,000	0	
収入合計	20,416,000	322,179	20,738,179	20,799,174	△ 60,995	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,450,000	0	11,450,000	13,120,806	△ 1,670,806	
本俸	7,775,000	0	7,775,000	9,434,545	△ 1,659,545	職員8名分
社会保険料	1,141,000	0	1,141,000	1,269,836	△ 128,836	職員9名分
手当計	2,216,000	0	2,216,000	2,139,061	76,939	職員8名分
健康診断費	0	0	0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	5,000	0	5,000	600	4,400	職員9名分
退職給付引当金繰入額	164,000	0	164,000	147,764	16,236	職員8名分
その他	149,000	0	149,000	129,000	20,000	職員8名分
事務費	2,134,000	0	2,134,000	1,360,466	773,534	
旅費	17,000	0	17,000	22,923	△ 5,923	各種会議・講習会参加交通費、駐車場代等
消耗品費	226,000	0	226,000	225,714	286	コピー用紙、テブラ、フラットファイル、封筒等
会議賄い費	1,000	0	1,000	750	250	自治会役員会
印刷製本費	173,000	0	173,000	177,004	△ 4,004	コピー印刷代、名刺代
通信費	576,000	0	576,000	398,399	177,601	固定電話代、携帯電話代、切手代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	800,000	0	800,000	165,321	634,679	調理室冷凍冷蔵庫、パソコン、マイクスタンド
図書購入費	34,000	0	34,000	0	34,000	
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	25,000	0	25,000	16,772	8,228	研修参加費
振込手数料	3,000	0	3,000	2,700	300	銀行・郵便局への振込手数料
リース料	21,000	0	21,000	15,228	5,772	床マット代
手数料	1,000	0	1,000	432	568	残高証明書発行
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	257,000	0	257,000	335,223	△ 78,223	保健衛生費、車両費、渉外費、車両燃料費、福利厚生費
事業費	542,000	0	542,000	418,968	123,032	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	11,200	30,800	運営協議会経費
指定管理料充当 事業	500,000	0	500,000	407,768	92,232	自主事業支出
管理費	5,374,000	322,179	5,696,179	4,777,244	918,935	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	3,124,000	0	3,124,000	3,097,400	26,600	光熱水費
電気料金	1,093,400	0	1,093,400	1,084,172	9,228	
ガス料金	992,756	0	992,756	991,101	1,655	
水道料金	1,037,844	0	1,037,844	1,022,127	15,717	
清掃費	88,000	0	88,000	88,339	△ 339	清掃費
修繕費	474,000	322,179	796,179	796,179	0	修繕費
機械警備費	171,000	0	171,000	171,652	△ 652	機械警備費
設備保全費	1,416,000	0	1,416,000	494,994	921,006	設備保全費
空調衛生設備保守	422,000	0	422,000	0	422,000	
消防設備保守	300,000	0	300,000	0	300,000	
電気設備保守	200,000	0	200,000	0	200,000	
害虫駆除清掃保守	28,000	0	28,000	28,668	△ 668	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	466,000	0	466,000	466,326	△ 326	総合設備管理費
共益費	0	0	0	0	0	
その他	101,000	0	101,000	128,680	△ 27,680	ゴミルート回収経費
公租公課	916,000	0	916,000	1,049,664	△ 133,664	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	916,000	0	916,000	1,049,664	△ 133,664	消費税
印紙税	0	0	0	0	0	
その他( )	0	0	0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	20,416,000	322,179	20,738,179	20,727,148	11,031	
差引	0	0	0	72,026	△ 72,026	

自主事業費収入	500,000	0	500,000	56,600	443,400	自主事業への参加料等
自主事業費支出	500,000	0	500,000	407,768	92,232	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 351,168	351,168	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」  
 収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,300,000	0	23,300,000	23,300,000	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000	0	151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0	0	0	43,500	△ 43,500	自主事業収入（大人の料理倶楽部）
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0	0	0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）	390,000	0	390,000	390,000	0	
<b>収入合計</b>	<b>29,630,000</b>	<b>0</b>	<b>29,630,000</b>	<b>29,673,500</b>	<b>△ 43,500</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>23,850,000</b>	<b>0</b>	<b>23,850,000</b>	<b>25,992,058</b>	<b>△ 2,142,058</b>	
本俸	14,354,000	0	14,354,000	16,458,719	△ 2,104,719	職員7名分
社会保険料	2,875,000	0	2,875,000	2,986,743	△ 111,743	職員7名分
手当計	6,009,000	0	6,009,000	5,920,666	88,334	職員7名分
健康診断費	0	0	0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	9,000	0	9,000	750	8,250	職員7名分
退職給付引当金繰入額	389,000	0	389,000	400,680	△ 11,680	職員7名分
その他	214,000	0	214,000	224,500	△ 10,500	職員7名分
<b>事務費</b>	<b>3,120,000</b>	<b>0</b>	<b>3,120,000</b>	<b>452,581</b>	<b>2,667,419</b>	
旅費	200,000	0	200,000	14,693	185,307	各種会議・講習会参加交通費、駐車場代
消耗品費	500,000	0	500,000	25,256	474,744	コピー用紙代、ファイル代
会議賄い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	300,000	0	300,000	168,701	131,299	印刷代、名刺代
通信費	100,000	0	100,000	44,326	55,674	切手代、固定・携帯電話代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	800,000	0	800,000	0	800,000	
図書購入費	100,000	0	100,000	18,203	81,797	月間ケアマネジャー、家族のためのユマニチュー
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	400,000	0	400,000	40,080	359,920	研修参加費
振込手数料	1,000	0	1,000	1,426	△ 426	銀行・郵便局への振込代
リース料	36,000	0	36,000	0	36,000	
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	683,000	0	683,000	139,896	543,104	渉外費、福利厚生費
<b>事業費</b>	<b>1,410,000</b>	<b>0</b>	<b>1,410,000</b>	<b>995,940</b>	<b>414,060</b>	
協力医	630,000	0	630,000	630,000	0	協力医謝金
指定管理料充当 事業（包括）	320,000	0	320,000	70,253	249,747	自主事業支出
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000	0	151,000	156,389	△ 5,389	一般介護予防事業支出
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000	0	309,000	139,298	169,702	生活支援体制整備事業費支出
<b>管理費</b>	<b>1,250,000</b>	<b>0</b>	<b>1,250,000</b>	<b>1,184,253</b>	<b>65,747</b>	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	542,000	0	542,000	823,359	△ 281,359	光熱水費
電気料金	189,700	0	189,700	288,197	△ 98,497	
ガス料金	173,440	0	173,440	263,456	△ 90,016	
水道料金	178,860	0	178,860	271,706	△ 92,846	
清掃費	23,000	0	23,000	23,482	△ 482	清掃費
修繕費	126,000	0	126,000	126,000	0	修繕費
機械警備費	45,000	0	45,000	45,628	△ 628	機械警備費
設備保全費	487,000	0	487,000	131,579	355,421	設備保全費
空調衛生設備保守	150,000	0	150,000	0	150,000	
消防設備保守	106,000	0	106,000	0	106,000	
電気設備保守	100,000	0	100,000	0	100,000	
害虫駆除清掃保守	8,000	0	8,000	7,620	380	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	123,000	0	123,000	123,959	△ 959	総合設備管理費
共益費	0	0	0	0	0	
その他	27,000	0	27,000	34,205	△ 7,205	ゴミルート回収経費
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他（ ）	0	0	0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>29,630,000</b>	<b>0</b>	<b>29,630,000</b>	<b>28,624,832</b>	<b>1,005,168</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,048,668</b>	<b>△ 1,048,668</b>	

自主事業費収入	780,000	0	780,000	43,500	736,500	自主事業への参加料等
自主事業費支出	780,000	0	780,000	365,940	414,060	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 322,440	322,440	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	0	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	2800	4272	-1472	14800	13194	1606	99232	88062	11170	6192	6818	-626
	その他	2800	3789	-989	1300	1487	-187	11931	7884	4047	1286	593	693
	介護予防ケアマネジメント費	2800	3789	-989			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	利用者等利用料			0			0	11931	7884	4047	1286	593	693
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0	1300	1487	-187			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	5600	8061	-2461	16100	14681	1419	111163	95946	15217	7478	7411	67
支出	人件費	5000	1424	3576	15293	16011	-718	71168	68495	2673	4281	5155	-874
	事務費	250	154	96	403	524	-121	9645	8971	674	1045	675	370
	事業費	38	5	33	16	12	4	13500	8041	5459	1500	605	895
	管理費	39	275	-236			0	6067	6249	-182	674	470	204
	その他	0	4907	-4907	280	0	280	4464	6708	-2244	496	504	-8
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料		4907	-4907			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0	280		280	4464	6708	-2244	496	504	-8
	<b>支出合計(B)</b>	5327	6765	-1438	15992	16547	-555	104844	98464	6380	7996	7409	587
	<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>273</b>	<b>1296</b>	<b>-1023</b>	<b>108</b>	<b>-1866</b>	<b>1974</b>	<b>6319</b>	<b>-2518</b>	<b>8837</b>	<b>-518</b>	<b>2</b>	<b>-520</b>

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
合同歌声喫茶 2018	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②449名		包括	0	0	0	0	0	0
	③(500円は実行委員管理)		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ひかりが丘 介護者のつどい 銀俱樂部	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②52名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
囲碁教室	①高齢者	28,700	地活	28,700	0	0	0	0	28,700
	②480名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
古典を学ぶ会	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②45名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
にこにこ会	①障害者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②103名		包括	0	0	0	0	0	0
	③(200円は共催団体管理)		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
子ども科学クラブ	①子ども	56,489	地活	56,489	0	0	55,000	1,489	0
	②142名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ひかりの会	①障害者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②92名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
癒しの音楽 研究会	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②41名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
上白根地区 民生委員懇談会	①高齢者	9,750	地活	4,875	0	0	0	0	4,875
	②139名		包括	4,875	0	0	0	0	4,875
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
施設連絡会	①事業者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②27名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
支えあい連絡会	①地域	7,672	地活	3,836	0	0	0	0	3,836
	②118名		包括	3,836	0	0	0	0	3,836
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
健康吹き矢	①地域	51,006	地活	1,406	49,600	0	0	51,006	0
	②250名(うち見学2名)		包括	0	0	0	0	0	0
	③200円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0



平成30年度 自主事業収支報告書

みんなの庭	①地域	24,915	地活	24,915	0	0	0	21,714	3,201
	②78名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
歌謡体操	①地域	129,600	地活	129,600	0	0	0	129,600	0
	②345名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ひかりの輪 (わなげ同好会)	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②104名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
Let's介護予防	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②1,283名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ハマトレ体操	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②209名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
3B体操	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②40名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
健脚でGO!	①高齢者	60,000	地活	60,000	0	0	60,000	0	0
	②194名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
大人の料理倶楽部	①地域	68,741	地活	0	0	0	0	0	0
	②103名(うち16名はボランティア講師)		包括	0	0	0	0	0	0
	③500円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	25,241	43,500	0	0	68,741	0
楽しく健康! 麻雀くらぶ	①地域	1,980	地活	0	0	0	0	0	0
	②149名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	1,980	0	0	0	1,980	0
社交ダンス教室	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②209名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
食品衛生講習会	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②22名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
旭北地区 振り込め詐欺防止講座	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②97名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ちょこっと終活★講座	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②25名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ちょこっとミニミニ 認知症講座	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②19名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0

## 平成30年度 自主事業収支報告書

シニアボランティア ポイント講習会	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②9名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
「無患子」御守ストラップ プレゼント事業	①地域	3,370	地活	0	0	0	0	0	0
	②16名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	3,370	0	0	0	3,370	0
第16回 ひかり福祉フェスタ	①事業者	8,731	地活	8,731	0	0	0	8,731	0
	②396名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
上白根旭区版 エンディングノート 活用講座	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②108名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
福祉フェスタ 健康チェックコーナー	①高齢者	1,839	地活	0	0	0	0	0	0
	②173名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	1,839	0	0	0	1,839	0
			生活	0	0	0	0	0	0
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー 出展事業	①地域	345	地活	345	0	0	0	345	0
	②450名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
四季の森小学校4年生・ 視覚障がい者交流会/ 車椅子の扱い方講習会	①子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②39名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
四季の森小学校4年生と 高齢者の交流会	①子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②117名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
URハマトレ体操	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②199名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ボランティア交流会	①地域	8,783	地活	8,783	0	0	0	8,783	0
	②31名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
旭北地区民生委員 懇談会	①高齢者	1,950	地活	975	0	0	0	0	975
	②13名		包括	975	0	0	0	0	975
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
夏休み子どもクラブ	①子ども	29,513	地活	22,513	7,000	0	15,000	14,513	0
	②39名		包括	0	0	0	0	0	0
	③なし～200円(企画により)		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
包括レベル 地域ケア会議	①地域	60,567	地活	0	0	0	0	0	0
	②42名		包括	60,567	0	0	50,000	3,167	7,400
	③なし		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
合同歌声喫茶 2018	(目的) 歌好きの方々が集まって仲間作りや健康作り。また外出の機会を作ることで引きこもり予防。5月開所の二俣川地域ケアプラザも含めた区内全ケアプラザの周知。 (内容) 区内ケアプラザとボランティア団体・歌声喫茶オアシスと実行委員会形式で運営。	年1回 (5月29日) 449名 旭公会堂

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひかりが丘 介護者のつどい 銀俱樂部	(目的) 介護者の会、情報提供、虐待防止。場所はひかり商店街の喫茶カフェ。 (内容) 介護者サロンとして、包括職員とサロン形式で雑談。親睦を深め虐待防止に繋げる事を継続している。	毎月第2金曜日 12回 52名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
囲碁教室	(目的) 囲碁を通して高齢者・障害者等、地域の方の居場所作りを目指している。 (内容) 外出することが苦手な高年男性や精神障害の方などを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、囲碁を通して地域の方との交流の場所とした。ボランティアは福祉囲碁協会。	第1・3木曜日 第2・4水曜日 40回 480名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
古典を学ぶ会	(目的) 高齢や障害で他の方と接する機会の少ない方が、日本の古典を読むことを通して、日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し合う場として提供する。 (内容) 講師のご住職の方による、往生要集の講読など	毎月第4木曜日 9回 45名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこ会	(目的) 精神障害の方の居場所作り。 (内容) 会員同士で年間の計画をたて、食事会や外出の機会を設けることで社会性向上や日常生活に寄与する。旭区地域生活支援拠点ほっとぽっと【共に歩む市民の会】との共催。	毎月第4木曜日 12回 103名

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子ども 科学クラブ	(目的) 地域の小学生の3年～6年生までを対象に、様々な科学おもちゃ工作を通じて科学的興味を育てる。 (内容) 講師の科学博物館ボランティアの藤野氏に毎月違う工作を指導して頂く。地域のボランティアも2、3名協力。	毎月第3水曜日 11回 142名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひかりの会	(目的) 脳血管障害による言語障害のための親睦サロン。 (内容) 月に一度仲間と親睦を深め、多少の言語リハビリも行うサロン活動。	毎月第4火曜日 13回 92名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
癒しの音楽 研究会	(目的) 地域住民の閉じこもり防止、ストレス解消、心の安定を図る。 (内容) 癒し系の音楽(ヒーリング音楽、クラシック、オルゴール等)やリラックスできるような音楽を聴く、あるいは音楽をBGMにしてリラックスした状態で参加者がコミュニケーションをとる。癒しの雰囲気を中心に共同作業も検討。	毎月第2日曜日 10回 41名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上白根地区 民生委員懇談会	(目的) 地域の民生・児童委員とケアプラザ職員の情報交換・研修等実施による連携強化。 (内容) UR団地の民生・児童委員と地域交流、包括支援センター、居宅介護事業所のメンバーで情報交換・連携強化・研修等を行っている。旭区高齢障害支援課の地区担当が参加することもある。勉強会の内容によっては外部講師を招くこともある。	毎月第2金曜日 10回 139名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
施設連絡会	(目的) 地域の介護保険施設の相談員と定期的に情報交換を行い、地域課題の抽出・対応の検討などを行う。 (内容) 地域の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、高齢者グループホームの相談員等との情報交換や地域課題の抽出・対応の検討、ボランティア支援などを行った。	第3火曜日 4回 27名

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
支えあい連絡会	<p>(目的) 地域施設連絡会、ひかりネット、SOSローカルネット、あんしんネットワークなどの活動を統括して地域の福祉につなげる。旭区と地域福祉保健計画推進についても、検討する機会。</p> <p>(内容) 地域の状況にあったテーマ・時期に会議形式で行った。</p>	5/18、10/29、 1/28、2/27、3/1 5回 118名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康吹き矢	<p>(目的) 地域の高齢者や閉じこもりの男性等の外出のきっかけづくり、また吹き矢による腹式呼吸トレーニングと腹筋・口の周りの筋力強化による健康増進。</p> <p>(内容) 呼吸法を意識しながら、ゲームを楽しんだ。</p>	第1水曜日 第3月曜日 第4土曜日 34回 250名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなの庭	<p>(目的) 園芸を通じた世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供。</p> <p>(内容) ケアプラザの庭の一部を開放し、季節を感じられる花と緑を年に2～4回植え替え、随時手入れに参加していただく。募集は子どもから高齢者までの地域の方すべて。</p>	5/21 9/21 11/16 3回 78名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌謡体操	<p>(目的) 健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。</p> <p>(内容) カラオケ機械のライブDAMの歌謡体操を主に、歌いながら体を動かしていけるようにする。また、ライブDAMだけに捕らわれず楽しく続けられるようDVD(四季の歌)も取り入れ、参加者が自ら選択してメニューを組み立てていく自主性を育むきっかけとした。</p>	第1・3月曜日 22回 345名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひかりの輪 (わなげ同好会)	<p>(目的) 輪投げのゲームを楽しむことで外出のきっかけ、世代間交流となることを目的とする。</p> <p>(内容) 地域の方から寄付された輪投げの道具を利用し、グループ対抗の輪投げのゲームを行う。募集は子どもから高齢者までの地域の方すべて。</p>	第1・3日曜日 10回 104名

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Let's介護予防	<p>(目的) 介護予防及び認知症予防の体操や栄養改善・口腔ケア等の講座を通じて自身の健康管理及び介護予防に関する意識を高め、各種事業及び活動への参加につなげる。</p> <p>(内容) ケアプラザによる自主事業及び登録団体による活動等の参加者に向けて、介護予防及び認知症予防の体操や栄養改善・口腔ケア等の講座を実施する。</p>	<p>不定期 79回 1283名</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ハマトレ体操	<p>(目的) 健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。</p> <p>(内容) 介護予防を主として講師も出席者も共に健康に介護予防を行えるよう開催。口腔体操等も取り入れる。</p>	<p>第2月曜日 第4日曜日 13回 209名</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
3 B 体操	<p>(目的) 赤ちゃんから高齢者まで世代に関係なく楽しくリズムカルに体を動かす3 B 体操を実施し、世代間の垣根を排除することで、地域での助け合いの促進及び健康維持の両方の機会を増やしていく。</p> <p>(内容) ボール・ベル・ベルダー (道具) 等を使い音楽と共に3 B 体操を行うことで、多様な世代が参加出来る体操内容としている。</p>	<p>5月21日 10月1日 2回 40名</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健脚でGO!	<p>(目的) 健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。立位では運動が難しい方を主な対象とする。</p> <p>(内容) 介護予防を主として講師も出席者も共に健康に介護予防を行えるよう開催。椅子に座りながらでもできる、効果的な筋力トレーニングとストレッチを行う体操教室で、リハビリテーション体育士が指導。</p>	<p>第2土曜日 12回 194名</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大人の料理倶楽部	<p>(目的) 地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。</p> <p>(内容) お料理を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とすることを狙いとして開催。</p>	<p>第1、2金曜日 21回 103名</p>

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽しく健康！ 麻雀くらぶ	（目的）地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。 （内容）麻雀を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とすることを狙いとして開催。	第4金曜日 12回 149名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
社交ダンス 教室	（目的）社交ダンスを定期的に行う事で自宅から出て交流の場をもつ機会を増やし、介護予防を図る。 （内容）やさしく、楽しく心と体をリフレッシュいただき、身体に負担を掛けず楽しく健康に社交ダンスを行うことで介護予防を図る。	第4金曜日 13回 209名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
食品衛生 講習会	（目的）地域で食事ボランティア活動に従事されている方々を中心に、食事提供における食中毒予防のポイントを理解いただく。 （内容）日頃から高齢者食事サービス・サロンなどで食事提供のボランティアをされている方の活動において、食事による事故を予防するための食品衛生講習会を実施。	6月29日 1回 22名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭北地区 振り込め詐欺 防止講座	（目的）地域の高齢者が、振り込め詐欺などの被害に合わぬよう、事前に防止することを目的に講演会を実施する。 （内容）包括職員が神奈川県警HPなどの振り込め詐欺に関する情報を整理し、一部クイズ形式にして、講義する。	6月12日 10月9日 2回 97名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちよこつと 終活★講座	（目的）成年後見制度や身元保証サービスの存在を地域に広め、高齢者の権利擁護の一助とする。成年後見制度や身元保証サービスが必要な高齢者が制度を速やかに利用できるよう、地域の人が制度をすぐ思い浮かべられるように周知する。 （内容）成年後見制度、身元保証サービスについて講義、質疑応答。	5月24日 1回 25名

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちよこつと ミニミニ 認知症講座	<p>(目的) 地域の高齢者が、認知症について知識を深め、家族、親族、友人、近隣住民に発症した場合の対応方法を理解してもらうために開催。</p> <p>(内容) 認知症の症状や具体的な対応方法を資料を用いて学ぶ。</p>	9月20日 1回 19名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニア ボランティア ポイント講習会	<p>(目的) 地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。</p> <p>(内容) ケアプラザを会場に、ケアプラザ職員が講師として講習会を実施。</p>	7月31日 1回 9名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「無患子」御守 ストラップ プレゼント事業	<p>(目的) シニアボランティアポイント講習の受講者に対して、積極的なボランティア活動を促すための機会として開催。</p> <p>(内容) 「無患子」御守ストラップを製作し、ひかり福祉フェスタ開催時に地域の方々に配布する。地域の方々が身に付け喜ばれることを通して活動者としてのやりがいを感じてもらい、次の活動へつなげる。</p>	8月28日 9月4日 2回 16名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第16回 ひかり福祉 フェスタ	<p>(目的) 地域の福祉・障害に関わる団体の連携を強める。恒例行事を行うことでケアプラザへの関心を高め、利用をしやすいとする狙い。</p> <p>(内容) グループがバザーや催しを通じて地域との連携を深める。実行委員会（カプカプ他）と共催、包括では介護予防の啓発、地域交流では催しものや事前準備のためのボランティアをコーディネート（今年度は来場者のための記念品を作成するボランティアが事前にも活動を実施）。</p>	10月2日 11月17日 11月18日 3回 396名



# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上白根旭区版 エンディング ノート活用講座	<p>(目的) 地域の高齢者等の終末に向けた不安感を軽減し、より良い人生を送れるよう旭区版エンディングノート書き方講座を実施する。成年後見制度の普及も視野に入れ講義をする。</p> <p>(内容) 旭区版エンディングノートを用い、項目ごとの意図を説明しながら、一部実際に鉛筆で下書きしてもらい、必要性を認識してもらおう。併せて成年後見制度の講義をし理解を図る。</p>	<p>10月6日 11月3日 12月1日 3回 108名</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
福祉フェスタ 健康チェック コーナー	<p>(目的) 主に地域の高齢者を対象に健康状態をチェックする機会を設け、健康に対する興味を持ってもらい、しいては介護予防の意識付けをする。</p> <p>(内容) 骨強度、ストレスチェック、血管年齢、血圧、身長、体重などを測定。希望者には健康、栄養、口腔の個別相談を行う。また、健康講話、健康体操を実施する。</p>	<p>11月18日 1回 173名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい 区民まつり 行政・PR コーナー 出展事業	<p>(目的) 来場しているお客様に地域ケアプラザ及び地域福祉保健計画を知る機会を作る。</p> <p>(内容)</p> <p>①地福計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所、多世代交流、子育てサロンの3つにテーマを設定し、各ケアプラザ圏域の取組を1つずつパネルで紹介</li> <li>・パネル掲示した活動についてのご意見募集と啓発物配布</li> </ul> <p>②CP機能周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代を中心とした多世代交流プログラムの実施(わなげ)</li> <li>・関連ブース(旭区福祉保健課事業企画担当及び旭区内地域ケアプラザ、旭区地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」、主任児童委員連絡会)連携による、ワードラリー</li> <li>・「ひなたぼっこ」ブースで、各ケアプラザで実施予定の子育て支援事業一覧の配布</li> </ul>	<p>10月21日 1回 450名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
四季の森小学校 4年生・視覚障 がい者交流会/車 椅子の扱い方講 習会	<p>(目的) 視覚障がい者と交流し、学ぶことで、視覚障がい者を知る。さらに、車椅子の扱い方を学び、障がいを持った方の接し方を学んだ。また、ケアプラザの紹介を行いケアプラザを知っていただく。</p> <p>(内容) 視覚障がい者と交流し、その方の想いや生活についてお話を伺ったり、点字の実物を見る等、視覚障がい者について学び、また、車椅子に実際に触れ、扱い方、気を付けなければならない事について話し合った。更にケアプラザの紹介を行い、ケアプラザを知っていただく。</p>	<p>11月14日 1回 39名</p>

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
四季の森小学校 4年生と高齢者 の交流会	<p>(目的) 小学生と高齢者が一緒に昔遊びをしたり、歌を歌ったり、おしゃべりを楽しみ、多世代交流を行った。高齢者・地域の方々・子ども達双方にケアプラザを知っていただき、交流の場とした。</p> <p>(内容) 四季の森小学校の4年生がケアプラザを訪問し、ケアプラザの機能を学ぶ機会とした。その後、1人暮らしの高齢者昼食会で歌を歌うなどの交流を行った。また、昔遊びで、地域の方々、高齢者の方々と交流を行った。</p>	<p>11月6日 11月13日 11月26日 3回 117名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
URハマトレ体操	<p>(目的) 健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。ケアプラザまで来るのが大変な方のために公団集会所に向き行う。</p> <p>(内容) 介護予防を主として講師も出席者も共に健康に介護予防を行えるよう開催。口腔体操等も取り入れる。</p>	<p>第4月曜日 12回 199回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	<p>(目的) ケアプラザ内外で活動しているボランティア及び活動団体間による交流等を通して各々の活動の充実及び新たな活動へ取り組む意欲の向上につなげる。</p> <p>(内容) 各々の活動を紹介しながら情報交換を行う。また、地域包括支援センターからの情報提供、地域活動交流部門からの利用者アンケート結果報告等を行う。</p>	<p>3月10日 1回 31名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭北地区 民生委員 懇談会	<p>(目的) 団地外の旭北地区の民生委員(2名)との情報交換・課題検討等による連携強化。</p> <p>(内容) 当該地区の民生委員3名、旭区役所地区担当ケースワーカー・保健師、地域活動交流、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所ケアマネージャーのメンバーで実施。地域の現状や民生委員の活動についての悩みや課題の共有を行い、解決策や今後必要な活動等検討を行った。</p>	<p>9月12日 1回 13名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み 子どもクラブ	<p>(目的) 小学生対象の居場所作りとして始めたが、現在は夏休み中のお楽しみイベント(クッキー教室、ダンス、工作・手芸教室など)で恒例となっている。</p> <p>(内容) 定期的に行っている子ども科学クラブに加え、クッキーなどの手作り教室を開催。</p>	<p>7月～8月 4回 39名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
包括レベル 地域ケア会議	<p>(目的) 高齢になっても住み慣れた地域でできるだけ長く安心して暮らし続けるために、地域包括ケアシステムをつくるための会議を地域住民主体で行う。</p> <p>(内容) 地域で活動している方々及び医療・介護・保健・福祉関係者等が参加して、地域で取り組めること及び地域全体を支える充実したネットワークづくり等の検討を行う。</p>	<p>10月30日 2月15日 2回 42名</p>